

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	特別養護老人ホーム整備支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり	主管課長	早川 仁				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別養護老人ホーム入所希望待機者	意図	特別養護老人ホーム入所希望待機者の解消				
事業内容	新規特別養護老人ホーム運営事業者の公募及び選定、県との協議等							
事業開始から現在までの状況変化	昭和58年5月 初石苑開設（60床） 平成11年4月 あざみ苑開設（108床） 平成23年4月 流山こまぎ安心館開設（100床）		昭和62年4月 平成17年11月 平成25年2月		リバーパレス流山開設（100床） はまなす苑開設（60床） 月の船開設（100床）			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		① 特別養護老人ホーム入所希望待機者数	581	581	558	人	↓↓↓
② 市内特養箇所数		5	6	6	箇所	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 特別養護老人ホーム入所待機者数については、横ばいである。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		757,600	717,800	698,700	平成23年4月 流山こまぎ安心館開設 平成25年2月 月の船開設		
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		757,600	717,800	698,700			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	第5期介護保険事業計画に基づき特別養護老人ホームの整備を進める。	③取り組みの課題	入所希望待機者の中に要介護度4・5の重度者が、250人おり、特にこれらの方々の特別養護老人ホーム入所が急務である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	特別養護老人ホーム100床の整備に向け、開設事業者の公募及び選定し、名都借地区において整備中。	④今後の改善計画	第6期介護保険事業計画に、特別養護老人ホームの整備について適切に位置付け、開設事業者の公募及び選定をする。